

郡山で説明会

再生エネ学習に意欲

高校生8人 来月9日ドイツ出発

本県の現状報告へ

現地の学生と交流も予定



ドイツの高校生と交流し再生可能エネルギーを学ぼうと、本県の高中生八人が八月九日、現地に出発する。四日、郡山市の郡山ビッグアイで説明会が開かれた。

日本万国博覧会記念基金の助成を受け、NPO法人アースウォーカーズが県内の高校生から参加を募った。「福島・ドイツ高校生交流

プロジェクト」として、ノルトライン・ウエストファーレン(NRW)州の高校生と交流する。東京電力福島第一原発事故発生後の県内の状況を報告し、再生可能エネルギーについての講義などを受ける。期間中は現地にホームステイし、二十一日に帰国する。

参加する福島南高一年の坂井梨花さん(一五)は「語学力を身につけるとともに、これからの福島に必要な再生エネルギーについて真剣に学んできたい」と話している。

プロジェクトについて説明を受ける高校生